

頸城 戸隠 P1 尾根

小暮

【日時】 2007年2月10日(土)～12日(月)

【メンバー】 L小暮明、大野、笹川

戸隠スキー場付近から見るとまるでヨーロッパアルプスを思わせるような岩と雪の迫力を見せる戸隠の雪稜に行ってきました。ルートは、夏道のあるP1尾根。登山道があるとはいっても鎖場の連続する難所が続き、積雪期は不安定なキノコ雪に悪戦苦闘する記録も多いところである。天気予報では、アタック日の日曜日の天気が冬型で雪ということだったので、どうしようかと思うが敗退覚悟でとりあえず入山する。

初日は晴れ。西岳登山口に車を置いて、ミニスキーをはいてかろうじて雪のつながった林道を歩く。異常ともいえる暖冬のおかげで周囲の景色は4月のような状態で、夏道も見えている。二俣付近ではスキーをしばらく担ぐことになってしまった。これではスキーを使って楽なのか大変なのか分からない。この辺り地形図と登山道の位置が違っているので注意が必要である。渡渉して、急斜面の樹林帯を登ると天狗平だ。ここからは、再びスキーが使える。つぼ足だと潜るがスキーは早い。天狗平は伐採跡なのか一面の雪原となっていた。

尾根が急になるところで、スキーをデポしてワカンに切り替える。しばらくラッセルすると尾根が細くなり、アップダウンが出てきた。今度はワカンからアイゼンに履き替える。最初の岩場は、鎖が出ているのでつかんで登る。荷物が重くて大変だ。続いて現れる岩場は左側を巻くように道が続いているので特に問題はない。更に進むと雪壁。結構急だがザイルが必要なほどではない。ところどころスカスカ雪の下から岩が出てくるので、左右に逃げながら登る。熊の遊び場を幕営地の目標にしていたのだが、このときは平坦な場所だと思っていたので、登り続けた。後で考えるとこの雪壁のあたりが熊の遊び場だったと思う。

雪壁を進むととうとう残置スリングが掛かっている急な草付に出た。取り付きのところは、足場がえぐれており、ちょっと難しい。荷物を持って登れないので、小暮リードで空荷でロープをつけて登る。15mほどのピッチだった。全員空荷で登る。荷揚げを試みるがうまくいず、



雪のルンゼを登る

何度も登り返したりして結構苦労してしまった。その上はちょっと急な雪壁。けりこむと岩が出てくる。雪が少なくてかえって難しい？大野さんリード。灌木でロープを固定してアッセンダーでフォローする。その先は岩場を避けて左側のルンゼを登る。雪は安定しているので問題無かったが、場合によってはザイルが欲しいところかもしれない。そろそろ幕を張りたいのだからなかなかよい幕営地が無く、しばらく急な雪壁を登り続ける。無念の峰を越えたところで、左側に二重山稜のような窪地があり、よい幕場となった。左右に雪壁があり、風をよけられてたすかった。

2日目は雪。冬型だがそれほど冷え込みは厳しくない様子。吹雪だったら停滞しようと思っていたが、穏やかな小雪といった天気。あまり厳しいようなら引き返しましょうということをして

出発。登り始めるとすぐに細い尾根となり、5m程のギャップがある。大野さんが灌木を掘り出したので懸垂して降りる。その先が蟻の塔渡りだ。両側がスッパリと切れ落ちた岩場に雪が乗っかっている。小暮リードでロープを出す。幸いきのこ雪も大きく発達しておらず、入山前日の雨で固まった雪の上に昨夜の新雪が降った状態だったので、新雪を払ってアイゼンを蹴りこめばOKだ。スノーリッジを抜けて、その先の雪のついた鎖場もまとめて登ってしまう。50m一杯だったのでビレイヤーは心配だったらしい。抜け口がキノコ雪でちょっと大変だ。アイスクライミングの要領で抜けてロープを固定した。



蟻の塔渡り

その先も草付状の雪壁が続く。念のため大野さんがロープを引いた。更に雪稜を登ると山頂直下に出る。稜線からは雪庇が大きく張り出して崩れそうな感じがしてしまう。左の



雪庇の張り出しが無いところまで斜面をトラバースすると山頂に抜けた。割と早く着いた。山頂はあいにくとガスがかっている。視界が広がるときもあるが、隣のピークが見える程度で遠望は利かないので、早々に下山する。

下山は、ザイルを出して登ったところは懸垂して降りる。蟻の塔渡りを再び歩く。テン場に戻ってまだ12時45分なので、スキーをデポした場所まで下ることにする。熊の遊び場の雪壁は、ダブルロープで3ピッチの懸垂下降だ。あとは本院岳ダイレクトルートを眺めながらスキーデポ地点に戻り幕となる。

3日目は晴れ。スキーで下山する。平坦なところはミニスキーなので板が滑らない。歩くよりは早いけど疲れる滑りだった。二俣で渡渉すると再びスキーを担ぐ。スキーが重い。最後は林道を滑らないミニスキーをえっちらおっちらと漕いで下山した。今回、中日の冬型の天気が思ったより崩れず予想外にも順調にピークを往復することができました。例年の2月の冬型なら嵌っていたかもしれない状況です。心配していたキノコ雪もたいしたことなく、足元から崩れる雪の恐怖におびえることなく雪稜を楽しむことができました。雪のかぶった草付クライミングもなかなか楽しかったかな。下山して麓から戸隠連峰を改めて見ると、本当にアルプス的でカッコいい。日帰りで登れる雪稜ルートもあるようなので、また行きたいと思います。

【行程】

2/10 西岳登山口(8:00)～二俣(9:20/45)～熊の遊び場(14:00)～無念の峰 C. 1(17:20)

2/11 C. 1(9:00)～P1(11:20)～C. 1(12:45/13:15)～C. 2 (15:40)

2/12 C. 2(8:00)～二俣(9:00)～西岳登山口(10:40)

【地図】 戸隠、高妻山

